中央

マフラーを寄付していただきました

築地在住の方から色とりどりの手編みのマフラーを寄付していただきました！その数なんと150枚！趣味でマフラーを編まれており、近隣の施設などにもご自身で寄付されていて、今回中央地域課にもお声掛けいただきました。

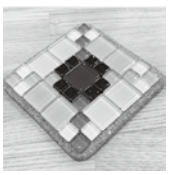
同課を通じて、あまよう特別支援学校と子育てサークルさんにお渡しし、「心も体もあったまります」と大変喜んでいただきました。

「たけやキッズぱーく」始まりました！

竹谷小学校区には、残念ながら梅プラザ（中央北生涯学習プラザ）のような、子どもたちが放課後に勉強したりゆっくりおしゃべりしたりできる公共施設がありません。

この地域課題を解決するため、同課とユース交流センター、中高生が協力し、地域の福祉会館をお借りして月1回、子どもの居場所「たけやキッズぱーく」を開催することになりました。

第1回は、2月20日に北竹谷連合福祉会館で開催し、みんなでコースターを作ったり中高生が特技を子どもたちに教えたりしました。次回は3月20日㈯午前10時から、中央地区会館で開催予定です。**対**小学生**先**30人**申**不要**問**中央地域課（左ページ参照）。



立花

古くても美しい庁舎は地域のアイデアから

立花庁舎の敷地は、庭園のように美しくしていただいています。これは数年前、ある事業がきっかけで顔見知りになった地域の方の「この花壇を任せてもらえるか」というお声掛けが始まり。人の背丈ほどの雑草で覆われていた場所が地域の方々の手でよみがえり、季節ごとのお花が植えられ、道行く人の目を楽しませています。「庁舎前を華やかに彩る花で、四季の移ろいを感じ取っていただければ」と生島西連協の皆さん。素敵な活動に日々支えられています。

つぶやきから始まった「おさがり市」

「コロナ禍でイベントがなくなって困っている人がいる」。これは、まちで気になることや、やってみたいことなどを持ち込める「立花かいわい会」に参加した、ちかさんのつぶやき。

ちかさんによると、入学や新学期で何かと入り用な中、制服などのリサイクルバザーや学校で使える手作り品のマルシェなどがコロナ禍で少なくなっているので、何かできないかとのこと。このつぶやきをきっかけに、有志の実行委員や近隣のPTAなどが協力して、2月27日に立花庁舎で「おさがり市」が開催されました。立花かいわい会は、毎月第2火曜日午後6時から、立花庁舎で開催しています。気になることがあってもなくても、ふらっとのぞいてみてください！

武庫

一緒に武庫をきれいにしませんか？

◆秋のコスモス園開園に向けて

毎月第3土曜日午前9時から、武庫川髭（ひげ）の渡し花咲き会の皆さんが、秋のコスモス園の開園に向け清掃活動をしています。1月は武庫小学校の6年生が参加していたので話を聞いてみると、「卒業の思い出づくりに参加しない？」と地域の会長さんに誘われたのだとか。コスモス園の開園までにはこうした小さなストーリーが織り重なっています。

◆武庫之荘駅南の噴水広場でも

阪急武庫之荘駅南側にも清掃活動をしている方々がいます。少年野球の皆さんのほかに、土曜日の朝に赤いビブスを着た人たちを見掛けたことはありませんか？

この方たちは毎週土曜日午前8時15分を目指して、各自が駅の周辺でごみを拾い、集合しています。武庫之荘駅の噴水ができて約50年、このボランティアグループの皆さんは、噴水の修繕ができないかと検討しているそうです。

どちらも気軽に参加できるボランティア活動です。トングやごみ袋を持ってぜひご参加ください。